
SA協議会

2014年度 名古屋スキルアップミーティング 報告

SA協議会

2014-10-17

WG; 青山、西山、熊崎、外山

報告項目

1. 概略計画(中部WGにて計画運営を実施)

名古屋会場

2. 参加者

3. 当日の内容報告

名古屋会場

4. アンケート結果

5. まとめ

交流会

1. スキルアップミーティング概略計画(名古屋会場)

開催概要

【名古屋会場】

- 開催日時：平成26年10月17日(金) 13時00分～17時00分
- 開催内容：講演とグループディスカッション
- 開催場所：三菱電機株式会社 名古屋製作所FCC(FAコミュニケーションセンタ) 4階Aホール
- 定員：30名様
- 参加費：無料
- 懇親会費：4,500円(予定) ※懇親会へのご参加は任意です。
- 申込締切日：平成26年9月26日(金)着

【プログラム】

受付:12:30 開始

開会:13:00

終了:17:00 頃予定

懇親会:17:45～19:30

【開催内容】

- ・第一部 ビデオ講演 「ISO/IECガイド51 ; 2014改定について」
明治大学名誉教授 向殿 政男 氏
講演タイトル 「調整作業の Lock out Tag out の法制化」
セーフティクラフト代表 水野 恒夫 氏
- ・第二部 パネルディスカッション、パネルディスカッション
テーマ「ある調整作業における不意の起動事故」

2. 参加者結果

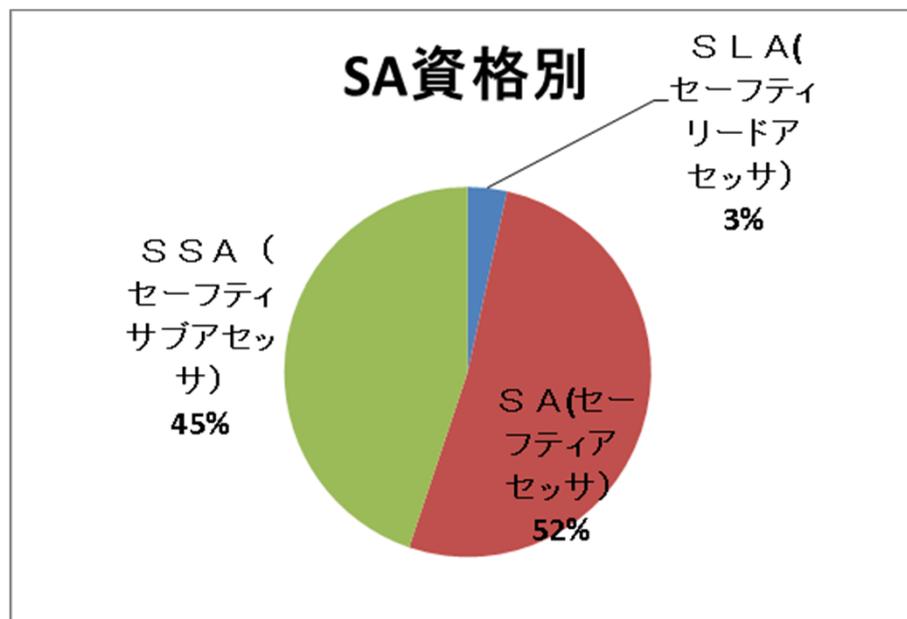
参加希望者

名古屋 33名 (WG除く)

当日参加者

名古屋 32名 + 講師 + WG (5名)

(懇親会参加者 13名)



3. 内容報告

3.2 名古屋会場

【プログラム】 13:00～17:00 司会;熊崎氏

●13:00 ～ 13:05 挨拶、諸連絡
佐川日本認証(株)社長

●13:05 ～ 13:25 ビデオ講演(20分)
明治大学名誉教授 向殿 政男 氏
「ISO/IECガイド51;2014改定について」

●13:25 ～ 14:25 講演(60分)
セーフティクラフト代表 水野 恒夫 氏
「調整作業の Lock out Tag out の法制化」

●14:25 ～ 14:35 休憩(10分)

●14:35 ～ 16:10 グループディスカッション(95分)
テーマ 「ある調整作業における不意の起動事故」

●16:10 ～ 16:35 発表(25分)

●16:35 ～ 16:55 全体討議(20分)

●16:55 ～ 17:00 終了

【懇親会】

場所;名古屋駅 「魚民」

時間;17:45～19:30



佐川氏挨拶

3. 内容報告

● ビデオ講演

SA 協議会会長 明治大学名誉教授 向殿 政男先生

「ISO/IECガイド51;2014改定について」とのテーマで以下のポイントで講演があった。

- ・安全の基本思想はガイド51にあり
- ・ガイド51の構成
- ・ガイド51の主な改正点（1. 消費者視点、2. 安全の定義、3. RA/リスク低減の反復プロセス図が改正）
- ・ガイド51の基本概念



向殿会長ご講演

（講演資料は、SA協議会掲示板に掲示）



3. 内容報告

● 講演 セーフティクラフト代表 水野恒夫 氏

「調整作業の Lock out Tag out の法制化」とのテーマで以下のポイントで講演があった。

- ・安衛則107条改正で「調整作業」の追加。
- ・法令改正や事故事例からロックアウト／タグアウト措置の奨励。
- ・運転状態で行う作業の三つの必須要件
- ・送検対象が上位階層へシフト化



(講演資料は、SA協議会掲示板に掲示)



3. 内容報告

● グループディスカッション

水野氏から提示していただいたテーマ

「ある調整作業における不意の起動事故」

について討議した。

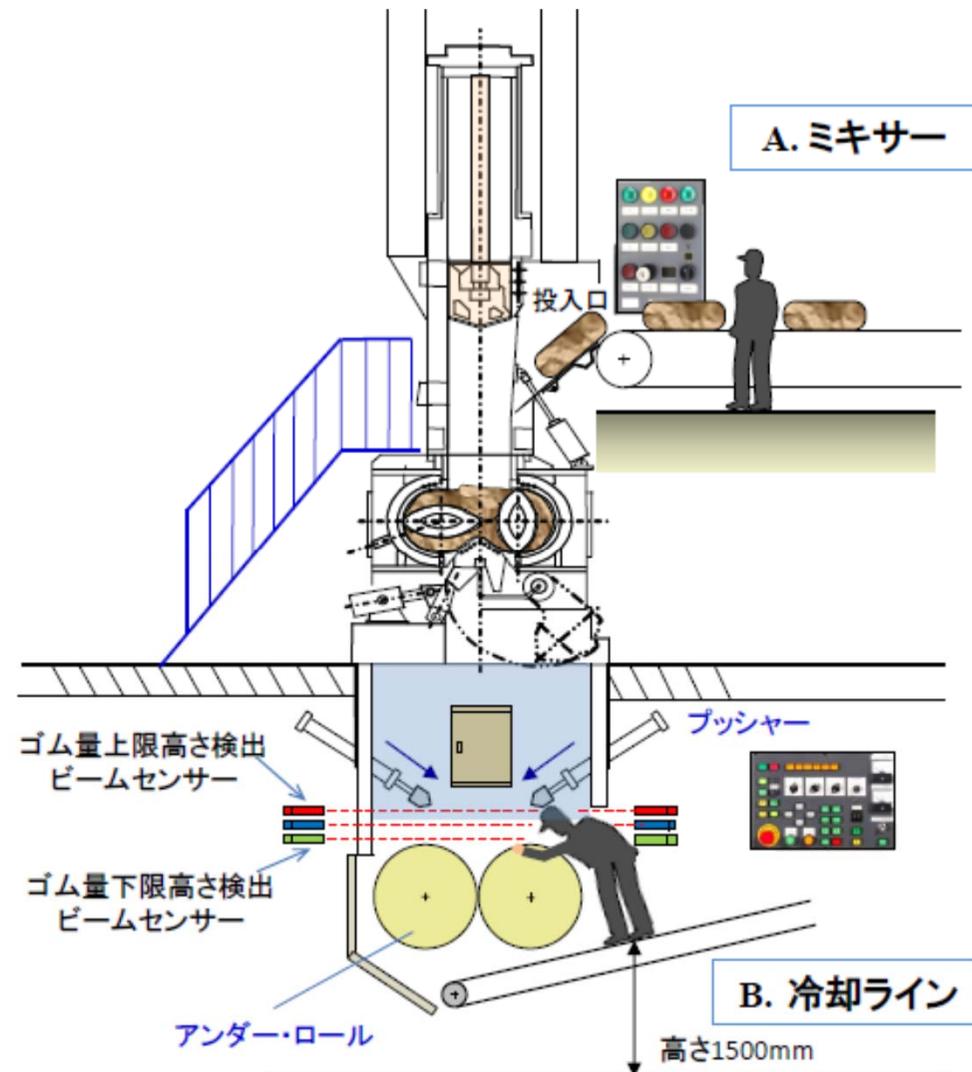
ディスカッションのポイントは、

1. この事故の主要原因(問題点)を整理してみよう
2. 機械の改造時の設計審査の仕組みとセーフティ・アセッサの役割を考えてみよう

5グループ(各グループ5名or7名)で活発な討議がなされた。

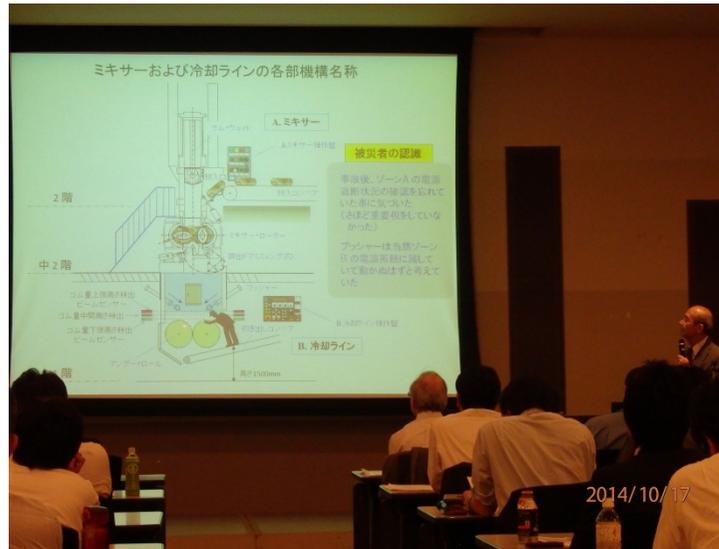
* 討議資料は別紙ファイル(SA協議会に掲載)

討議対象のデモモデル



3. 内容報告

● グループ討議の状況



水野氏からグループディスカッション
テーマの説明。



各Gでの活発
な討議



3. 内容報告

● グループ討議結果の発表



1グループ



2グループ



3グループ

各グループの
発表レジメは、
別資料参照。



4グループ



5グループ

3. 内容報告

● 全体討議

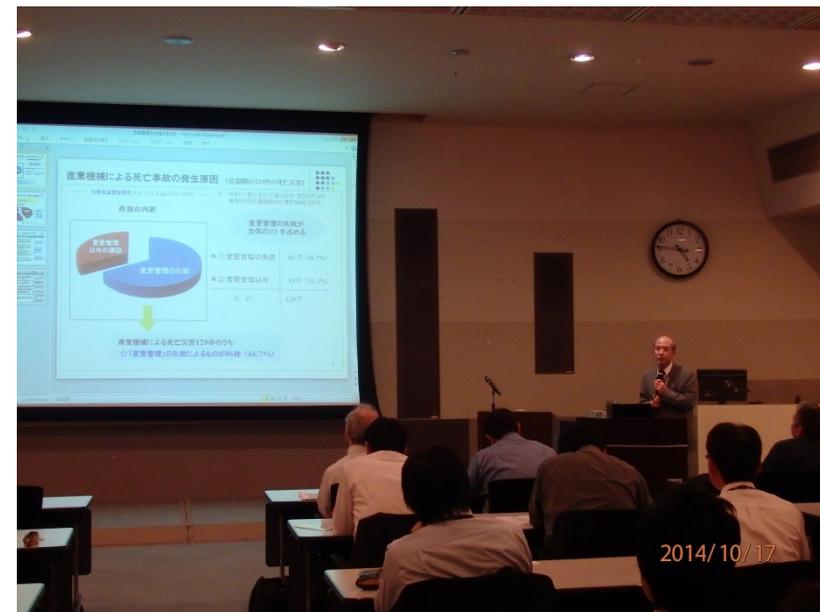


西山氏から「事故発生の相関図」を示して、
国際規格と関連して対策する事例を説明して
いただいた。相関図は別ファイル。

水野氏から

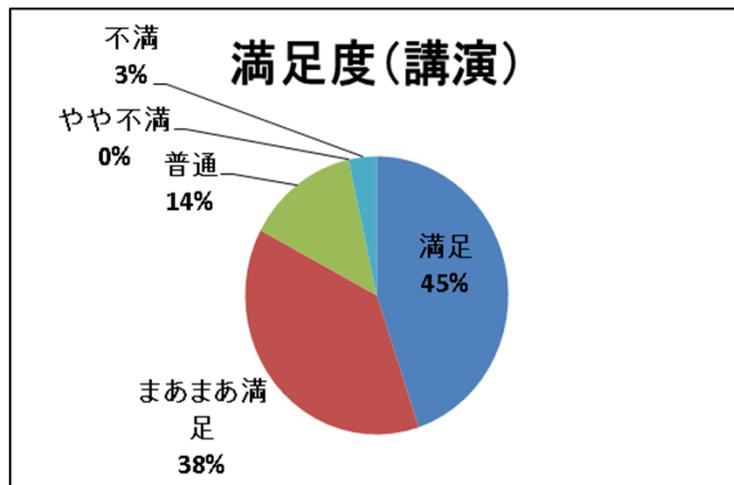
- ・産業機械による死亡事故の発生原因
- ・保全調整作業の特質

の観点で参考となる情報を提供いただいた。

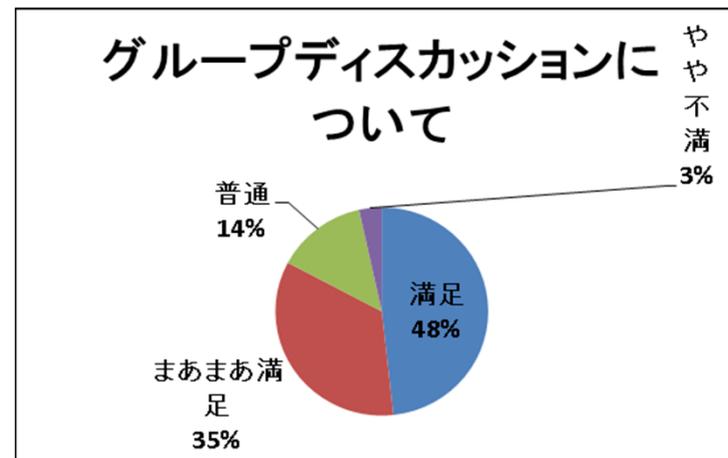


4. アンケート結果

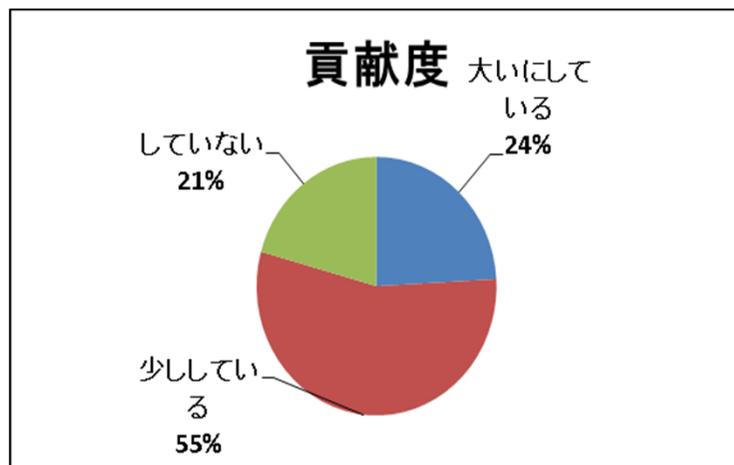
① 本日の講演についての感想は



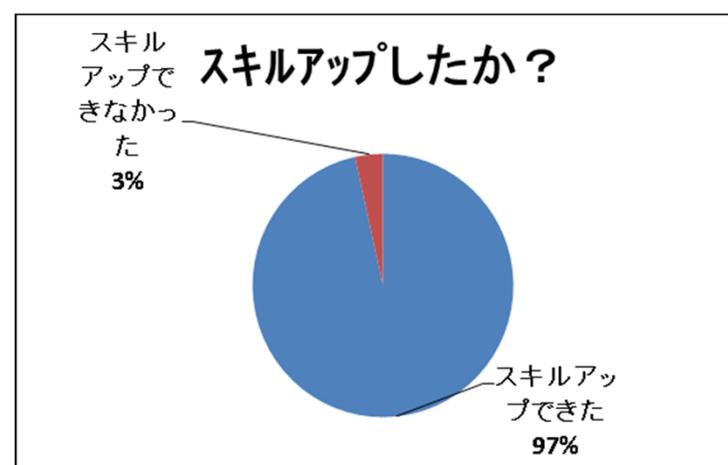
② 本日のグループ/パネル討議についての感想は



③ 社内外での安全活動



④ 参加してスキルアップできましたか？



5. 纏め

当日は大変に有意義なミーティングが開催されました。

- ① 講演は、
 - －今回改正された「ガイド51」の概要について、JIS化に先駆け「向殿先生のビデオ講演」を放映することができたことは、目的の一つである「最新の情報提供」寄与という点からも大変良かった。
 - －セーフティクラフト代表 水野 恒夫 氏による講演は長年の経験に裏付けされた説得性のある内容で、関連法令を含め改めてロックアウト／タグアウトの重要性を認識させられた。
 - －今後もテーマ選定については、アンケート等の情報を整理して、会員の要望に応じられる工夫をしていきたい。
- ② グループディスカッションでは、
 - －今回の演習事例は実際の事故をモデルにしていたため、現実的な想定で議論ができ、各Grとも活発な討議が行われた。
 - －前回でのディスカッションでは「時間が短い」との意見も多かったため、今回は演習問題を参加者全員に先行で発信する施策を取り入れ、ディスカッションの時間配分に配慮した。その結果すべてのGrでスムーズなスタートとGr発表が達成できた。
 - －気になった点は、どのグループも「発言する人」、「聞く側の人」の2極化傾向が見られた。
…この問題は今後の課題としてアンケート等を参考にして次回に反映していきたい。
- ③ 懇親会では、
 - －グループディスカッションと違い、それぞれの参加者の立場から発言があり、安全を中心に幅広い領域で話が盛り上がり、有意義な時間を過ごすことができた。
 - －親睦会の最後に日本認証の外山氏からWGへの積極的な参画要請のPRがあり、前回同様WGメンバーの拡大と次回ミーティングの更なる質向上を目指すことで締めた。
- ④ その他
 - －ビデオ講演で向殿先生の講義を釣行する機会になったが、ビデオの関係で少し声が歪んだりしていて聞こえにくいとのアンケートの結果があった。今後に生かしたい。

交流会

最後に、会員同士の親睦を深める交流会を実施しました。希望者13名。
異なった職場での安全に対する取組等をフランクに意見交換することができました。
次回のスキルアップミーティングをよりよいものにしていきましょうと合意しました。

